

サブリーダー合同研修

令和元年10月25日(金)
場所 呉市役所

研修テーマ 「より主体的・積極的に学校経営に参画するためには」
～事務をつかさどることを意識して～

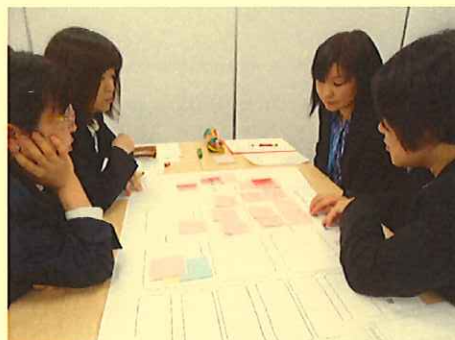
講師 呉市教育委員会 教職員管理グループ 木屋管理主事

オリエンテーション はじめに、研修の進め方と日程、役割分担について説明。
今回は、ビジネスデザイン法によるグループワークを行いました。

グループワーク

- ステップ1 あるべき姿(実は問題)を考える。
あるべき姿を3つのグループに分類し、最も望ましいカードを抽出する。
- ステップ2 3枚のカードごとに、真の原因を探る。
重要かつ解決の可能性の高いと思われるカードを20%を目処に抽出する。
- ステップ3 項目ごとに解決策を考える。
重要かつ期限内で実行の可能性が高いと思われるカードを20%を目処に抽出する。

A班の様子



B班の様子



2班に分かれて、個々の意見を付箋に書き出し、活発に意見交流が行われました。

発表 A班



B班



木屋管理主事様から、次のような講評をいただきました。



「事務をつかさどる」ためには、横のつながりを共有し、意識してほしい。

校長のビジョンを基に、子どもをどう育成するのかを考えてその目標に向かっていく、チーム学校の一員として責任を持って事務を担っていくことが求められている。

日々の仕事が生徒の育ちや教員の仕事にどう関わっているのか、お互いをしっかり知ることも必要では。

チーム学校が組織として機能するための3つのポイント

- ①専門性に基づくチームの体制
- ②学校マネジメント機能の強化
- ③教職員一人一人が力を発揮できる環境づくり

総括事務長及び事務長のアンケートから・・・

一番多く挙げたのは “コミュニケーションの重要性”

自信を持って、積極的に若い世代の人材育成にあたって欲しい、など。

サブリーダーさんに大きな期待を寄せていることを知って、頑張りたい。

サブリーダーの感想から(抜粋)

・物事を俯瞰的に見る力、決められた枠の中で動くだけでなく仕組み自体に疑問を持ち改善する視点、合理的な仕組みを作り出す能力など、今後事務職員に求められている力はもっと質の高いものになってくるのだろうと思いました。

・木屋管理主事様の「職務、役目として責任をもって事務をする」ということが事務を司るということ、サブリーダーとしてコミュニケーション、自信をもって仕事をすることが大事という言葉に、これからの仕事をしていくなかで常に気にしていたところだと思いました。

・「事務をつかさどる」ことについてみんなの意識を聞くことができたことは良かったです。みんなの意見から重要性・緊急性・対策へと導くために考えを整理し、形にしていこうと学びました。

・学校目標や目指す子ども像に向かって何ができるか考え、主体的に行動していかなければならないと思いました。

・「今やっている仕事が生徒たちにつながっている。」と「自信を持って。」という言葉に元気をもらえました。